

事業番号	9
------	---

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・**経常事業**)

事業の概要	事務事業名		敬老会等運営事業						担当部		健康福祉部	
	会計区分		一般会計						担当課		長寿・障がい福祉	
	事業期間		平成12年度以前		～		平成31年度以降		担当係		長寿福祉係	
	基本施策・展開方向		2	保健・福祉		8	高齢者福祉		1	高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援します		
	予算区分		款	3	項	2	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画		小牧市敬老金支給要綱、小牧市ひとり暮らし高齢者交流事業実施要綱									
	目的	何・誰を対象に	75歳以上の高齢者又は70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に									
		どのような状態にするのか	高齢者に対して自らの生活の向上に努める意欲を促す									
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか		<p>◆平成29年度実施内容</p> <p>・敬老会 老人福祉法第5条により「国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対して自らの生活の向上に努める意欲を促すため」を主旨として老人の日が制定されているが、この主旨に沿って市主催により敬老会を開催する。</p> <p>開催日 平成29年9月13日(水) 対象者 75歳以上の市民(16,681人) 参加者3,300人 市民会館に招待し式典及び余興を開催し、また、祝品、敬老金、ダイヤモンド婚祝品を贈る。</p> <p>参加者粗品 ペットボトルのお茶 75歳祝品 箸セット 敬老金(こまきプレミアム商品券) 80歳5千円、85歳1万円、90歳1万5千円、95歳2万円、100歳3万円 余 興 女流講談、歌謡ショー</p> <p>・高齢者訪問 90歳以上の方にカタログギフト(5,000円相当)を贈る。 対象者の名簿作成、物品購入事務を行う。</p> <p>・ひとり暮らし高齢者交流会 70歳以上のひとり暮らし高齢者が交流できる会を開催する。 開催日 平成29年11月21日(火) 22日(水) 対象者 70歳以上のひとり暮らしの市民 参加者 408人 余 興 歌謡ショー</p> <p>◆29年度直接経費の内訳 敬老金 19,225千円 敬老金支給業務委託料 598千円 ダイヤモンド婚記念品 384千円 75歳祝品等 805千円 敬老会運営委託料 588千円 高齢者訪問記念品 4,729千円 バス借上料 1,494千円 ひとり暮らし高齢者交流事業委託料 2,192千円 その他消耗品費等 643千円</p> <p>◆30年度直接経費の内訳 敬老金 21,200千円 敬老金支給業務委託料 430千円 ダイヤモンド婚記念品 590千円 75歳祝品等 1,440千円 敬老会運営委託料 591千円 高齢者記念品 6,800千円 バス借上料 1,836千円 ひとり暮らし高齢者交流事業委託料 2,300千円 その他消耗品費等 1,724千円</p>									
	受益者負担		無									

事業費			単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額	
	費用	直接経費		千円	25,175	39,349	29,079	30,658	36,911
		正職員	従事者数	人	0.60	0.40	0.55	0.50	0.40
			人件費	千円	4,492	2,994	4,117	3,743	2,994
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0	0
		費用合計		千円	29,667	42,343	33,196	34,401	39,905
		対前年比		%	—	142.7	78.3	103.6	116.0
	財源	一般財源		千円	29,667	42,343	33,196	34,401	39,905
		国・県支出金		千円	0	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0	0

事業番号	9
------	---

業 績	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
	敬老会対象者数	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	13,642	14,580	15,698	16,681	
	敬老金支給対象者数	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	1,807	2,071	2,160	2,367	
	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
	敬老会参加者数	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	3,996	4,180	3,730	3,300	
	敬老金支給者数	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	1,759	1,984	2,053	2,243	

事業の 評価	平成 29 年度	事業の 達成状況	敬老会及びひとり暮らし高齢者交流会を開催した。 敬老会 対象者数16,681人 参加者数3,300人 参加率19.8% 敬老金 支給対象者数2,367人 支給者数2,243人 支給率94.8% ダイヤモンド婚記念品贈呈31組 75歳敬老祝品贈呈959人 90歳以上記念品贈呈1,357人 ひとり暮らし高齢者交流会 参加者数 408人						
		事業実施における課題	当該事業の目的は達成しつつあるものの、敬老金、祝い品又は記念品の対象者が年々増加しており、事業費が増加している。その課題を解消するためには、対象者や支給額の見直しの取り組みを実施していく必要がある。						
	平成 30 年度	30年度における実施内容や結果見込み	平成30年度では、9月12日に敬老会を、11月12日及び13日にひとり暮らし高齢者交流会を開催する予定である。また、敬老金、ダイヤモンド婚記念品、75歳敬老祝品及び90歳以上記念品の贈呈を例年どおりの対象者あてに予定している。						
	平成 31 年度以降	事業の方向性	縮 小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	—	千円	予算区分	8	節	11 節
		判定理由・削減内容	敬老金等の対象者が年々増加していくことが予想され、今後も事業費の増額が見込まれることから、事業の継続性を図るため、適正な見直しを図っていく。						
		31年度以降の実施内容	敬老会の開催方法や敬老金、祝品や記念品の支給対象、支給金額等について見直しを実施していく。						